

平成29年4月20日に産業建設委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## ・きびじつるの里の在り方について

### ～内容～

タンチョウの所有権移転に向けた交渉状況等、きびじつるの里の在り方について調査を行いました。

### ～質疑～

**問：平成27年9月にきびじつるの里の在り方を考える決議を可決している。今後の対応はどうか。**

答：経費の縮減については、今年度600万円の委託費を減額している。さらに人件費を含めて1,000万円ぐらい減額していければと考えている。

活用方法については、市内の各小学校、幼稚園、保育所に市のバスを利用して来ていただき、タンチョウを学ぶ機会にしてもらえようPRをしたいと考えている。

タンチョウの所有権移転については、相手と交渉を進めていきたい。

**問：現在10羽タンチョウがいるが、自然ふ化して増える可能性についてどのように考えているのか。**

答：自然に卵を産む可能性はあるが、10羽を超えないように飼育員と調整をしていきたいと考えている。

**問：きびじつるの里の役割で、岡山県自然保護センター的機能をもつ施設と位置づけられている。岡山県のサブセンターであれば、ある程度県からの助成も可能ではないのか。**

答：財政的な支援について、あらためて岡山県と交渉したいと思う。

## ・長良地区排水ポンプ場大雨災害時の危機管理に関する今後の進め方について

### ～内容～

平成28年12月12日に採択された長良地区排水ポンプ場大雨災害時の危機管理に関する陳情について、今後の方針を調査するもの。

### ～質疑～

**問：県との協議を今年度中にするという事で、具体化は平成 30 年以降という見通しになるのか。**

答：平成 29 年度で協議を進めていく。補助の対象になるかどうか審査を受け、適正と認められ、事業採択の見込みができれば、さらに県と協議を進めていく。

**問：ポンプを増やす事業費が詳細設計まで入れると 1 億円になるが、補助金の内容はどうか。**

答：補助の対象は、既設のポンプ施設のみである。このポンプに対する補助は、国 3 分の 1、県 3 分の 1 で、それ以外の部分、例えば新設するポンプについては単市で行う予定である。

**問：国県の補助金は既設のものだけであって、起債は使わないのか。**

答：国庫補助が認められる分については、一般補助の起債が充当できるが、単市部分については、単市が全く交付税の還元がない一般単独の起債になると想定している。いずれ事業の実施が決まったら県と交渉しながら、有利な起債が充当できるように協議を進めたいと思っている。

## ・有害鳥獣駆除について

### ～内容～

イノシシ、ニホンザル、ヌートリアの有害鳥獣捕獲に係る本市及び周辺自治体の捕獲報奨金の状況について、調査を行いました。

### ～質疑～

**問：平成 24 年度に国の補助制度ができています。本市が申請していない理由は何か。**

答：国の補助制度では、捕獲された個体の確認を職員が現地で行うなどの条件があり、現状での対応は困難であるため。

**問：国の制度をいかすようにしてほしいがどうか。**

答：検討していきたい。

**問：ヌートリアの籠の利用状況はどうか。**

答：27 個利用している。うち 11 個は駆除班へ貸出しをしている。

## ・チップウォーターの製造について

～内容～

チュッピーウォーターの製造について、調査を行いました。

～質疑～

**問：チュッピーウォーターの販売価格は幾らか。**

答：税込みで110円を想定している。

**問：利益は幾らか。**

答：1本当たりの利益5円を見込んでいる。

・上下水道料金のコンビニ収納の開始について

～内容～

コンビニ収納の開始について、調査を行いました。

～質疑～

**問：経費はどうか。**

答：コンビニ収納に加入するのに最初に3万円、毎月5,000円の定額費用が掛かり、この費用は要るところと要らないところがある。1件当たり手数料は50円から60円である。

**問：口座振替の加入率はどうか。また、コンビニ収納の見込みはどうか。**

答：口座振替の加入率は86%である。現金納付の納付書は1期ごとに約3,000枚出している。2割の人がコンビニ収納をするとして、600件ぐらいの見込みである。